

わ ら べ

令和4年4月28日
富岡保育園

5月の行事予定 および主な年間行事予定

主な年間行事予定

7月15、16（金・土）年長児サマーキャンプ

8月 6日（土）夏祭り

10月15日（土）ふれあい運動会

11月 9日（水）秋の遠足

12月 3日（土）保育参観・育児講座。給食試食会

12月17日（土）防火餅つき大会

2月11日（土）ほほえみ発表会

3月26日（日）卒園式

※新型コロナウイルス感染状況により変更する場合があります。

5月 9日（月）岡田先生運動遊び教室
年少・年中・年長さんは、体操服を忘れないように持たせてください。

5月11日（水）シャギリスタート

5月12日（木）はなまつり

5月19日（木）沖吉けい子先生童謡教室

5月23日（月）第1回サッカー教室年中・年長

5月17・24日（火）リトミック

5月27日（金）歯科検診

6月25日（土）第1回保育参観・育児講座
給食試食会

童謡教室・リトミック

毎月第3木曜日は、童謡歌手の沖吉けい子先生の童謡教室があります。年少・年中・年長さんに指導していただきます。小さいクラスは、お部屋のスピーカーからの参加です。小さいときから本物の美しい歌声を聴けるのはとても幸せなことです。

月2回（火曜日）は、渡辺まどか先生のリトミック・音楽指導があります。

保育参観・育児講座・給食試食会

日時：6月25日（土）
午前 8：45～ 9：45 保育参観
10：00～11：30 育児講座
11：40～12：20 試食会
講師：医療法人社団南西会 生田歯科医院
歯科医師 藤原 厚生

第1回サッカー教室

日時：5月23日（月）（ 年中・年長児 ）
指導：熊本県サッカー協会 キッズ委員会
会場：富岡保育園園庭
服装：園指定の体操服

伝承芸能「富岡保育園シャギリ」

毎週水曜日午前8：30～9：00まで
春の迫の稲尾利男先生にご指導して頂きます。
子ども達は、シャギリ大好きです。
時間に遅れないように登園しましょう。

スイミング

今年度は、年中、年長一緒に行きます。毎週金曜日が練習日です。前日までにスイミング道具を持たせてください。当日朝になり慌てないように忘れ物がないかどうか確認いたします。
尚、**5月6日はお休みになっています。**

花祭りについて

5月12日（木）

花祭り（お釈迦様のお誕生日を祝う儀式）
今年も園児のみで行います。
行列はできませんが、白いぞうさんときれいなお花でお飾りした花御堂にお釈迦様をお迎えしてお祝いいたします。
前日朝までに花御堂をお飾りするお花を少し分けていただけませんか。
詳しいことは後日おしらせいたします。

昨年の吉田多喜先生に続き、今年度は野田湖心（ノダココロ）先生を富保の仲間に迎えることができました。お二人ともピアノがお上手で、多喜先生は、沖吉先生の伴奏も引き受けてくれ、4月の童謡教室では沖吉先生からもたくさんのお褒めの言葉を頂きました。湖心先生には未満児クラスの音楽担当をお願いしていますが、湖心先生の優しいピアノが流れると、泣いていた1歳児さんが立ち止まって聞いていたという担任の先生の記録を読んで、嬉しくなっていました。保育園の日常に音楽が溢れて、子ども達の心が自然に育てられることを願っています。

さて今年度の富保は、また一つ変わりたいと考えています。先日の職員会議で先生方をお願いしたことが4つあります。

① 医療的ケア児の青柳心春ちゃんも年長さんになり、来年は1年生です。身体も大きくなり健康面も丈夫になってくれたので、もっと子ども達とふれあえる関係を構築したいと考えました。いわゆるインクルーシブ保育を目指していきたいのです。子ども達が益々優しい子に育ってくれるよう、心春ちゃんの笑顔がますます輝くよう、3歳以上児の先生方が力を合わせて下さるようお願いしました。

② 3歳未満児クラスでは、中島先生を中心に3年度から「担当制」の保育に取り組んで頂いているのですが、すごくいい2歳児さん・1歳児さん・0歳児さんが育ってくれています。何がいか、とにかく子ども達が落ち着いているのです。この2月の時点でひよこリス組さんが運動プログラムをしているのを見たのですが、ひよこ組が3段の平均台を一人で渡っているのです。その順番を待っているリス組さんは、自分たちだけで座ってにこにこしながらひよこ組さんを応援しているのです。今年の年少さんも、本当に年少さんかと思えるほど、まだ4月なのに落ち着いて自分のことは自分でしています。子育てのキーポイントは1歳児です。1歳児の育ちが後を決めます。「担当制」の保育が更に深まるよう6名の保育士全員が助け合って保育して下さっています。これをさらに推し進めて下さいとお願いしました。

あと2つほどお願いしたのですが、あまりに専門的なことなのでここでは省きます。
先生方もやる気に満ちていて、会議をしていても楽しく、今年も子ども達が「楽しい」と言ってくれそうな保育園が出来そうです。もしお家で、「保育園楽しくない」と子どもさんがつぶやいたら、あるいはそんなそぶり感じたら、園までお知らせください。私たちの保育を振り返ってみます。

ここでお家の方にもお願いがあります。6月25日の子育て講演会にはぜひご参加ください。講師の藤原先生は、いま全国を駆け回って保護者の皆さまにお話しして下さっている先生です。熊本県の保育士会の研修会も6月にあるのですが、それも藤原先生です。子どもの成長には臨界期があるのだそうです。それを逃すと後で子どもが苦労するそうです。どんな育て方が良いのか、分かりやすくお話してくださいませ。ぜひぜひおいで下さい。聞かなきゃ損です。





うさぎ組

新しいクラスがスタートしました。

昨年とお部屋は変わりませんが、子どもが自分でしなければいけないことが増え、毎朝の出席ノートにシールを貼るのも子どもたちの楽しみのひとつのようです。歯磨きもはじまり歯ブラシやうがいのコップも喜んで使っています。肩掛けタオルにも慣れてきました。新年度の準備も初日から全員そろえてくださりありがとうございました。

昨年の春を思い出すと一年でこんなに大きくなるものだと感心しながら私たちも過ごしています。身の回りのことも随分できるようになりました。そして友だちの存在も大きくなって、遊んでいる姿をみると友だちとの関わりが増えてきて「一緒にあそぼう」と誘っては言葉を交わしながら楽しく遊ぶ姿が増えました。

その分ケンカも増えました。自分の思いが通らないことで喧嘩が始まるのですが、激しい争いになることもしばしばです。この葛藤は相手の気持ちに気づいたり、いろんな感情を経験できるいい機会ですので怪我はしない程度には仲裁に入りますが、子どもの世界にはなるべく大人は入らないようにしています。今はまだ相手の気持ちに気づくにはまだまだ難しい年齢ですが、だんだんと折り合いが持てるようになってくれるでしょう。あんなにケンカをしててもすぐにまたくっついて遊んでいるのが子どもです。けがをした時は保護者の方に報告するように心がけているのですが、つい抜けてしまうこともあります。そんな時は「また人間関係のお勉強してきたのだな」と広い心で見守っていて下さい。一方的にやられっぱなしの子どもなどいません。全員の子どもの自我は、順調に伸びています。ただかみつきとひっかき傷だけは跡が残るので、注意しています。お家でも爪の管理を宜しくお願い致します。

この一年子どもたちが自分のことを自信をもってできること、子どもの主体性を大事にしながら「保育園たのしい」と思ってくれるように心をこめて接していきたいと思います。

どうぞ、よろしくお願いします。

—中島敦子 野田湖心—



年少児

以上児クラスに進級し、環境が変わり、担任は楽しみ半分不安半分とドキドキする気持ちで初日を迎えました。新年度が始まり早くも3週間が過ぎました。

子ども達は今、優しい年中、年長さんに身の回りの事や新生活の事を教えてもらいながら、楽しく過ごしています。

今まで同じ部屋で同年代の友達と過ごしてきた子ども達にとって、以上児クラスの生活は、部屋が増え、縦割りクラス（3、4、5歳児）の関りがあるので、一気に視野が広がりました。給食の時間のお弁当も楽しみにしていた1つで、うさぎ組の頃に比べ、よく食べるようになりました。お弁当効果はすごいですね。

先日とても楽しみにしていた遠足がありました。当日は天気に恵まれ、ワクワクしながら出掛けました。年少が危なくないように、道路側に行く中年年長さん。階段を降りる時は年少のゆっくりペースに合わせて降りてくれました。こうやって、中年年長の子も達も今まで優しくしてもらってきたのだらうなあと思い、同時に、縦割りの関りっていいなあ改めて感じました。

次ページへ続く→

りす組

新年度が始まり、もうすぐ1ヶ月が過ぎようとしています。新しい担任に人見知りで泣きだすこともありましたが、最近是一緒にふれ合い遊びをしたり、お歌を歌ったりと笑顔も見せてくれるようになりうれしく思っています。

朝からも「おはよう」と声をかけると走って来てくれたり、絵本や手遊びになると膝に乗って来たり、ほんとうに可愛いです。歌を歌うと小さな手をたたいてリズムをとったり、出始めたばかりの言葉で所どころ歌ってみたり、庭に出ると小さな虫にすぐ顔を近づけて見てみたり、ちょっとした仕草が何とも可愛くて、一緒に過ごせる幸せを感じ、こんなにかわいい小さな子どもたちの大事な命をお預かりしているという責任感で一杯です。

4月から未満児クラスとして、ひよこ組・りす組・うさぎ組の保育室を使って、食事や排せつなどの生活をする部屋と午前寝・お昼寝をする部屋、遊ぶ部屋に分けて、子どもたちが生活しやすい環境を整えて過ごしています。月齢や発達を考えると寝るのも、食べるのも、遊ぶのも違ってきました。

りす組の子どもたちの年齢の幅も今月2歳を迎える子もいれば、9ヶ月になった子もいます。年度末に一人ひとりの子どもたちの生活の流れをお家の方にお尋ねしたことで、子どもたちの生活リズムを知ることができ、一人ひとりの子どもたちの主体性を大事にした流れる保育をすることができていると思っています。子どもたちの生活は24時間、お家だけでなく園ともつながって生活が流れています。だからこそ、毎日の生活リズムを整えることは大事です。

大人に身も心もゆだねて過ごしてきた子どもたちも「自分で」という気持ちが出てきました。自分とは違う人との関係でとらえられてくると、すなわち違いが見えてくるからこそ子どもは自分が主体になり、他者とのぶつかり合いを体験するのです。「自分を意識し、自己主張し、自分にこだわる心の動き」自我が芽生えてくる時期でもあります。

この時期こそ、他者とぶつかり合い、自分の欲求が常に通るわけではないことを学ぶチャンスです。「～したかったの?」と子どもの気持ちを言葉に代えながら、そばで見守り、子どもたちの「自分で」を応援していきたいと思います。1年間、どうぞよろしくお願い致します。

先日、心春ちゃんも園庭でりす組・年少さんと一緒に遊びました。子どもたちの声に笑顔を見せてくれる心春ちゃん。子どもたちも心春ちゃんの手をやさしく握ってくれたり、頭を撫でてくれたり、優しく声をかけてくれたり、心春ちゃんにも子どもたちのやさしさが届いたことと思います。お互いに存在を感じながら、心地よい楽しい時間を過ごしました。心春ちゃんにとって今年度は、保育園で過ごす最後の年です。お互いの存在を感じながら、楽しかったと一人ひとりが感じられる日々が過ごせるよう一日一日を大切に過ごしたいと思います。

—濱崎拓子・富高由依・新居崎智子・青柳恵子—



遠足から帰って来た子ども達はどの子も満足そうな顔をしていました。「和氣先生、ピジターセンターでお弁当食べたよ！」と帰って来るなり嬉しそうに話し、玄関で靴も脱がずに寝転がってしまいました。疲れたのでしょう。重いリュックをしょってよく頑張って歩きました。子ども達が「楽しかった、またやってみたい」「また行ってみたい」と言える、行事や普段の遊びの環境を整えていけたらと思います。配慮不足の所もあるかと思いますが、1日1日を充実して過ごせるよう楽しい遊びを計画していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

新年度用品のサインペン、クレヨン等早速名前を書いて準備して下さりありがとうございました。「大事に使おうね」と子ども達に話しています。

— 清水綾子—



年中・年長児



進級おめでとうございます。新年度がスタートして1ヵ月が経とうとしています。「年少さん！」「年中さん！」と呼ばれると「はい！」と返事をして思わず立ってしまう年中・年長さんたちですが、年中・年長になったという喜びはみんな大きいようです。

去年は、感染症予防で青柳心春ちゃんと一緒に過ごすことができませんでしたが、今年は心春ちゃんも体力もつき元気になったので、子どもたちに「心春ちゃんが、前のように一緒に遊びたいって『なかまに入れて！』って言うてるよ、どうかな？」と子どもたちに訊くと「うん！いいよ！」と即答でした。早速、その日心春ちゃんが寝ているところに子どもたちが集まり、心春ちゃんにこちょこちょをしたり、「いないいないばあ！」をしたり「こはるちゃん、かわいい！」とそばを離れようとしないう子どもたちでした。さて、どんな一年になるかとても楽しみです。

新年度を迎え、今まで以上児クラスで慣れ親しんでいたとはいえ、縦割りクラスが変わったり、今までとは少し環境が変わったことで、心の変化がみられるかもしれません。お家でお気づきのことがありましたらなんでもお知らせ下さい。

今年は、年少さんが11名と新しい環境に慣れるまでには、大変だろうと予想していましたが、子どもたちは、それほど戸惑うことなく、スムーズにスタートすることができました。子どもたちがお互いに刺激し合い、子ども達のよりよい発達を助けていけるように、一生懸命心をかけて保育をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

随分と浸透してきた朝の挨拶、年中さん年長さんもずいぶんと身につき朝から子ども達のげんきな「おはようございます」の声が響いています。

早速子ども達と4・5月のお約束を考えました。

- 1 朝から「おはようございます」と元気な挨拶をしましょう。
- 2 玄関でお家の人に「いってきます」をして自分でお部屋に行きましょう。
- 3 自分の荷物は、自分で持ちましょう。

お家でも声をかけ、できた時はいっぱいほめてあげてください。

又、3歳児以上児クラスになると、お昼寝の時間は保育の打ち合わせや行事等で毎日連絡帳が書けません。記入がなかった時は、元気に過ごしたと思って下さい。

—吉田貴子・吉田多喜—



『ちがうって ばんざい』

作者 牧口二

私のまわりには いろんな人がいる
男の人 女の人
背の高い人 低い人
遊びの得意な人 苦手な人
声を出して 話す人 声を出さずに 話す人
松葉づえをついた人 車いすに乗った人
みんな みんないっしょに
それぞれ ちがった生き方をしている
みんな顔が同じなら
考えていることが同じなら
することも同じなら
ちっともおもしろくない
君の代わりは だれもない
ぼくの代わりも だれもない
みんなちがうから
ひとりひとり たいせつな人間なんだ
自分も人も たいせつな人間なんだ
世の中には いろいろな人がいて
いろいろな考えがあるってことを
それぞれ 持ちようを持った
生き方があるってことを
ひとつひとつ知っていくながら
人間はおおきくなっていくんだ
そして 深くなっていくんだ
みんな ちがうから すばらしいんだ

この詩は、小さい時に脊髄性小児まひという病気になってしまった、「牧口二」という作家の詩です。牧口さんが生きていく中で、今まで感じてきた不便や受けてきた差別を通して、人とは何か、なぜ違うのか、なぜ自分と違う人を受け入れられないのか、といった疑問を感じ、そこから、同じ人は一人としておらず、性や性格、身体の大ささ、得意不得意、好きなもの苦手なもの、障害のあるなしなどのいろいろな違いを認め、受け入れあっていくことの大切さ、そして、その違いをその人らしさとして、生きる上での楽しみにし、共に生きていく上での良いスパイスになっていくんだということの一つの詩として作り上げられました。

願わくば、ここから人は一人一人違うことを認めていき、お友達の家族や保育園、学校のお友達などいろいろな人に優しくすることができる人に育ってほしいと思います。

小学校が終わってから、お家の代わりに安心して「ただいま」と帰って来られる居場所が学童保育です。宿題をしたり、みんなでおいしいおやつを食べたり、本を読んでもらったり、そして、思う存分友達と遊べるのが学童のいいところです。

時には友達とケンカもありますが、相手の痛みを知るきっかけになったり、折り合いをつけられるようになるのも学童の成長期には大事なことです。

また、体験活動の機会も大事にしています。海や山の自然の中でのダイナミックな遊び、おやつ作りのクッキング、元気野菜作り、長期休み中の色々な活動など、それらを通して子ども達が何かを感じてくれるといいです。

一人ひとりの心に寄り添いながら、お互いを大事だと思える学童の関係作りを丁寧に築いていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

—野田明子・赤尾陽子・古瀬朱梨—

富岡児童クラブ

